

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	令和2年度福岡教育事務所管内 「学校を核とした人づくり・地域づくりセミナー」(WEB開催)	
期 日	令和2年11月4日(水)	
参加者	65名	
日 程	時 間	内 容
	13:00～13:20	※ZOOM入室時間
	13:20～13:25	【開会行事】
	13:25～13:40	【説 明】「本セミナーの趣旨と進め方について」 福岡教育事務所社会教育室 社会教育主事 大里 朋子
	13:40～14:10	【事例発表】「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の連携・協働」 発 表 者 春日市教育委員会地域教育課 主任 宮本 敬一 氏 春日市立大谷小学校 教頭 石橋 光二 氏 春日市立大谷小学校学校運営協議会 会長 石坂 貞治 氏
	14:10～14:20	【休 憩】
	14:20～15:00	【パネルディスカッション】「学校の『支援者』から地域づくりの『主体者』へ」 パネリスト 春日市教育委員会地域教育課 主任 宮本 敬一 氏 春日市立大谷小学校 教頭 石橋 光二 氏 春日市立大谷小学校学校運営協議会 会長 石坂 貞治 氏 春日市立大谷小学校 地域コーディネーター 池田 杏子 氏 ファシリテーター 福岡教育大学 教育心理ユニット 教授 生田 淳一 氏
	15:00～15:40	【講 話】「『コミュニティ・スクール』と『地域学校協働活動』の 一体的推進に向けて」 講 師 福岡教育大学 教育心理ユニット 教授 生田 淳一 氏
	15:40～15:55	【総 括】 福岡教育事務所主幹指導主事兼社会教育室長 高野 誠一
	15:55～16:00	【閉会行事】
活動の 実際	【事例発表】 春日市立大谷小学校で行われている「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の連携・協働」の取組について、行政の立場から春日市教育委員会地域教育課の宮本 敬一氏、学校の立場から春日市立大谷小学校教頭の石橋 光二氏、地域の立場から大谷小学校学校運営協議会長の石坂 貞治氏に事例発表をしていただきました。 それぞれの立場で、学校と地域にどのように関わっているのか、その具体例や、実際の子どもの様子はどうか等の、地域学校協働活動を推進していく上で活かせる基礎的な内容や実践を発表していただきました。春日市のコミュニティ・スクール推進に関する「共育」の考え方や、四者(児童・学校・家庭・地域)が連携・協働し、コミュニティ・スクールを共有するマネジメント方法等、参加者の方々においては、それぞれの立場で考えを広げるきっかけになったのではないかと思います。	



【石坂氏による事例発表の様子】

活動の 実際	【パネル・ディスカッション】 春日市立大谷小学校学校運営協議会に10年間委員として携わっておられる福岡教育大学教育心理ユニット教授の生田 淳一氏のファシリテートのもと、「学校の『支援者』から地域づくりの『主体者』へ」というテーマで、パネル・ディスカッションを行いました。パネリストは、事例発表をいただいた宮本 敬一氏、石橋 光二氏、石坂 貞治氏に加え、春日市立大谷小学校地域コーディネーターの池田 杏子氏です。 【パネル・ディスカッションの様子】 池田氏から地域コーディネーターとしての取組を紹介していただくと共に、パネリストそれぞれの立場から、大谷小学校区での強みや弱み、学校と地域の連携・協働が可能な場面やタイミング等について、考えや思いを発表していただきました。三者（行政・学校・地域）の手の届かないところに関わってもらえる貴重な存在として、「地域コーディネーター」を挙げられ、「地域コーディネーターこそがよい活動を継続するキーパーソンである」とのお話がありました。また、パネリストの皆さんが、「支援者」から「主体者」に変容した様子を聞いていただくことで、参加者それぞれの立場での、悩みを解決するための糸口や新たな取組へのヒントを提供できたのではないかと思います。参加者アンケートには、「地域コーディネーターになりうる方の人材発掘をしたいと思った」という記述がありました。
	【講話】 【生田氏による講話の様子】 福岡教育大学教育心理ユニット教授の生田 淳一氏に、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて」というテーマで講話をしていただきました。 まず、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進がなぜ必要とされているのか、その成果は何なのかなど、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していく上で、基礎的な内容を、春日市立大谷小学校の事例発表を具体的例としながら話していただきました。 さらに、一体的に推進していくために、行政、学校、地域のそれぞれの立場からどのような意識をもって取り組んでいけばよいか、明確にご提示いただきました。特に、「みんながリーダー」「みんなで成長」「みんなで子どものために」という言葉は、参加者にとって今後の取組や活動の参考になったのではないかと思います。
全体を とおして	参加者アンケートでは、「地域行事と融合させ、地域学校協働活動を実施したい」（市町行政担当者）、「学校が主体ではなく、四者がそれぞれ主体となることのできるような組織や仕組みを作っていかなければと感じました」（学校関係者）、「子ども達にたくさんの挑戦の場を作ってあげられたら、リーダーシップをとれるくらいの活躍をしてくれるに違いないと感じました」（地域コーディネーター）など今後の活動のヒントを得られたことや、課題意識を高めることができたことが分かる記述が多く見られました。このことから本セミナーが、参加者にとって有意義なものになったのではないかと考えます。 福岡教育事務所社会教育室といたしましても、今後も管内市町に対しての支援や情報提供を行い、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進に取り組んでいきたいと思っています。